

都市型立体遊園施設

フェスティバルゲート



ディープ大阪の名所、新世界にまたひとつ
トレンディスポットが誕生しました。

立体遊園地や商業施設、映画館がひとつに
なった「フェスティバルゲート」は、建物
全体に遊び心を盛り込んだ、とってもドラ
マチックな空間！

そこで今回は、大人も子供も楽しめる新世
界の新しいシンボ
ル、「フェスティバ
ルゲート」の人気
の秘密にせまっ
てみたいと思います。



レポーター／栗山早苗

国内初、館内を疾走するジェットコースター

通天閣の南側、交通局霞町車庫跡地に昨年夏、
「フェスティバルゲート」は建てられました。ま
るでおとぎの国にでも迷い込んだようなユニク
な外観は、見ただけで心が踊ります。いちばんび
っくりしたのは「デルビス・ザ・コースター」
(ジェットコースター)のレールが施設の外に飛
び出していること。この斬新な発想には、感心す
るばかり。そこで、まずは館内の遊戯施設からご
紹介します。

ミラクルゲートを抜けると、海底都市をイメ
ジした正面に。ここは2階の中央部から吹き抜け
で、その中をあの「デルビス・ザ・コースター」
が縦横無尽に駆け巡ります。絶叫マシン大好き
の私は、今日はこれが目当て。最大傾斜50度、最
高速度約100 km/hで、館内と外を疾走するスリルは

圧巻でした。

その他にも、大
宇宙での戦闘を想
定したシューティ
ング・シミュレ
ーション「コスモフ
ァイター」、6基
のゴンドラが地上
40数メートルまで
一気に昇りつめ、
それぞれバラシェ
ートのように降下
する「テオスの塔」など、どれも洗練されたデザ
インと豊かな色彩構成で楽しませてくれます。
特に私が気に入ったのは、イルカやペンギンのメ
リーゴーランド「マーメイド・カルーセル」。

以前にヨーロッパへ旅行をした時、遊園地でも
ないのに広場の真ん中にメリーゴーランドがあっ
てみんなで驚いた懐かしい思い出が甦りました。

都市型エンターテインメントとしての魅力

思いっきり遊んだ後は、じっくり館内ウォッチ
ングへ。「フェスティバルゲート」は、都市型エ
ンターテインメントというだけに、館内は遊戯施設
とグルメや買い物におすすめのショップが一体と
なって、各階毎、違ったテーマでフロアを彩りま
す。まるでヨーロッパの雑貨市場を再現したかの



ようなショップが並ぶ「ピアッツァ・フェスタ」、
アメリカのウエストコーストを思わせる気さくな
雰囲気「ビア・フェスタ」。アジアンテイ
スト満載の「オリエンタル・フェスタ」。東洋と西
洋の魅力をひとつにした「モスク・フェスタ」な
ど、バラエティ豊かな構成に。

都会の真ん中で、限られたスペースを上手に使
って、にぎやかに繰り広げられるアミューズメン
ト空間は、どれも个性的で、時間も忘れて散策を
してしまいました。

浪速情緒あふれる町に「娯楽カルチャー」を築く

「フェスティバルゲート」ができる以前、この
天王寺界隈に、一大歓楽街・新世界と通天閣、そ
して4万坪を
越える娯楽遊
園地が誕生し
たのは、1912
年(明治45)
のことでした。
これまで通天
閣は大阪のシ
ンボルタワーとして人々に愛されてきました。そ
して今また、人情味あふれ、浪速情緒を残すこの
町に新たな歴史を刻もうとしている「フェスティ
バルゲート」。

天王寺のターミナルから徒歩圏内ということも
あって、ビジネスマンやOLを中心としたヤング
アダルト層に人気ようですが、ご家族連れも楽
しめる要素はいっぱい。

かつて文化・娯楽の中心であった新世界の雰
囲気を継承しながら、まったく新しいイメージをも
った空間を創造する、都市の娯楽のための機能が
たくさん詰まった空間といえます。

●交通：「フェスティバルゲート」へは、大阪市営地下鉄御堂筋線、
堺筋線「動物園前」駅、JR、南海「新今宮」駅、阪堺電気軌道
「南露町」駅下車すぐ。

